

平成13年3月期

The Figures for 2001 Fiscal Year

単体 決算付帯資料

NON-CONSOLIDATED

日本文 P2-9

ENGLISH P10-18

業績等

(1) 経営成績

(単位：百万円)

	12年上期	12年下期	12年度	13年上期	13年下期	13年度
	実績	実績	実績	予想	予想	予想
売上高	139,298	130,213	269,511	141,000	135,000	276,000
営業利益	39,569	27,372	66,941	35,000	29,700	64,700
経常利益	42,404	31,029	73,433	37,500	32,500	70,000
当期純利益	19,467	11,789	31,256	21,200	18,400	39,600

(2) 諸経費等

(単位：百万円)

	12年上期	12年下期	12年度	13年度
	実績	実績	実績	予想
売上原価率	24.5%	25.3%	24.8%	25%
販管費	65,628	69,991	135,619	141,800
減価償却費	6,959	7,177	14,136	14,000
研究開発費	15,801	17,600	33,401	36,000
(売上比率)	11.3%	13.5%	12.4%	13.0%
広告宣伝費	9,629	9,502	19,131	20,000
販売促進費	10,104	12,527	22,631	25,000
設備投資額	5,584	9,917	15,501	23,000

(3) 事業別売上高

(単位：百万円)

部門	12年上期	12年下期	12年度	13年度
	実績	実績	実績	予想
一般用医薬品等	99,893	89,973	189,866	194,500
家庭用品および 公衆衛生用剤	1,239	1,400	2,639	2,500
その他	789	721	1,510	1,500
(セルフレイ・イノベーション事業 小計)	101,921	92,094	194,015	198,500
医療用	29,612	29,526	59,138	61,700
その他 *	4,998	5,135	10,133	9,600
工業所有権等 使用料収益	2,767	3,458	6,225	6,200
(医薬事業小計)	37,377	38,119	75,496	77,500
合計	139,298	130,213	269,511	276,000

* バイオペックス売り上げ含む

(4)一般用医薬品等主要製品売上高

(単位：百万円)

薬効群	12年上期 実績	12年下期 実績	12年度 実績	13年度 予想
1.ドリンク剤	62,198	48,772	110,970	114,500
リポビタミン シリーズ	58,211	44,895	103,106	106,500
・リポビタミンD	45,657	34,034	79,691	83,500
・その他 リポビタミン	12,554	10,861	23,415	23,000
ゼナシリーズ	2,690	2,659	5,349	5,400
アルフェ その他	1,297	1,218	2,515	2,600
2.かぜ薬	10,267	15,953	26,220	27,200
3.胃腸薬	2,365	3,101	5,466	5,500
4.リアップ等	12,660	10,940	23,600	23,600
5.その他	12,403	11,207	23,610	23,700

リポビタミンD チャンネル別売上高

(単位：百万円)

	12年上期 実績	12年下期 実績	12年度 実績	13年度 予想
既存チャンネル	29,614	20,033	49,647	45,500
新チャンネル	16,043	14,001	30,044	38,000
計	45,657	34,034	79,691	83,500

(5)医療用主要製品売上高

(単位：億円)

製品名	12年上期 実績	12年下期 実績	12年度 実績	13年度 予想
1.クラリス	106	126	232	238
2.パルクス注	104	86	190	192
3.ソロン	20	17	37	34
4.メトリジン	14	13	27	27
5.リーマス	12	11	23	24
6.アンカロン	9	10	19	24
7.リソキサ-	9	8	17	15
8.バイオパックス	13	3	16	11
9.ヒガミロデイスホ	6	4	10	9
10.アルボ	5	4	9	4
11.パンドル	5	4	9	8
12.メルクアターゼ	4	4	8	7
13.ロルカム	-	5	5	30
14.その他	2	3	5	5

(6)薬効別売上高

(単位：百万円)

薬効別	1 2 年上期	1 2 年下期	1 2 年度
	実績	実績	実績
神経系薬剤	15,849	21,367	37,216
循環器・ 消化器系薬剤	20,142	18,661	38,803
滋養強壯剤	62,776	49,343	112,119
代謝性薬剤	583	409	992
抗生物質製剤	10,571	12,666	23,237
外皮に作用する薬剤	19,584	17,053	36,637
家庭用品および 公衆衛生用剤	1,239	1,400	2,639
その他	5,758	5,835	11,593
工業所有権等 使用料収益	2,796	3,479	6,275
合計	139,298	130,213	269,511

(7)設備投資額の内訳

(単位：百万円)

	1 2 年上期	1 2 年下期	1 2 年度	1 3 年度
	実績	実績	実績	予想
大宮工場	816	2,118	2,934	5,800
羽生工場	16	57	73	200
岡山工場	3,403	4,083	7,486	6,000
総合研究所	698	803	1,501	1,500
その他	651	2,856	3,507	9,500
合計	5,584	9,917	15,501	23,000

(8)売掛金滞留期間等

(単位：百万円)

	1 2 年上期	1 2 年度
	実績	実績
売掛金滞留期間	3.2 ヶ月	2.9 ヶ月
売上債権滞留期間	3.5 ヶ月	3.2 ヶ月
流動比率	373.4%	382.0%

(9)金融収支

(単位：百万円)

12年上期	12年下期	12年度	13年度
実績	実績	実績	予想
2,024	2,732	4,756	3,800

(10)工業所有権等使用料収益

(単位：百万円)

12年上期	12年下期	12年度	13年度
実績	実績	実績	予想
2,796	3,479	6,275	6,200

(11)外国人持株比率

(単位：%)

12年上期	12年度
実績	実績
10.1	10.3

(12)輸出比率

(単位：%)

12年上期	12年下期	12年度	13年度
実績	実績	実績	予想
0.4	0.4	0.4	0.4

(13)従業員数

(単位：人)

11年3月末	11年9月末	12年3月末	12年9月末	13年3月末
実績	実績	実績	実績	実績
4,678	4,721	4,659	4,674	4,563

. 通期実績及び次期見込の概説

(1) 通期実績の解説

(単位：百万円)

項目	対前期比	増減事由
売上高	1,505	(.業績等(3)事業別売上高参照)
営業利益	17,340	販売費及び一般管理費 135,619(+16,501) うち研究開発費 33,401(+10,164) 販売促進費 22,631(+ 3,782) 広告宣伝費 19,131(503)
経常利益	16,077	金融収支 4,756(+ 985)
当期純利益	19,321	退職給付会計基準変更時差異 +17,261 (特別損失)

(2) 次期業績見込み

(単位：百万円)

項目	対前期比	増減の内訳予測
売上高	+6,489	(.業績等(3)事業別売上高参照)
営業利益	2,241	販売費及び一般管理費 142,000(+6,381) うち研究開発費 36,000(+2,599) 販売促進費 25,000(+2,369) 広告宣伝費 20,000(+ 869)
経常利益	3,433	金融収支 3,800(956)
当期純利益	+8,344	

・貸借対照表の概説

(単位：百万円)

	対前期比	増減事由
資産の部	+50,400	
1.流動資産	102,523	売掛金 + 7,543 有価証券 117,591 ・有価証券の定義が変更されたことに伴う 投資有価証券等への振替 120,595 ・有価証券の取得 + 3,004 繰延税金資産 + 3,134 その他の投資 + 9,300 (有価証券から振替の抵当証券)
2.固定資産	+152,923	有形固定資産 +5,450 無形固定資産 2,268 ・商標権、営業権の償却 2,286 投資有価証券 + 152,356 ・有価証券からの振替 + 105,595 ・投資有価証券評価益 + 27,865
負債の部	+19,754	
1.流動負債	+1,892	支払手形 + 792 買掛金 2,595 未払法人税 1,313 その他 +5,010 (うち設備関係未払金 +3,669)
2.固定負債	+17,862	退職給付引当金残高 38,907 前年同期末退職給与引当 金残高 21,277 = 17,630
資本の部	+30,645	任意積立金 + 47,725 当期末処分利益 33,241 その他有価証券評価差額金 + 16,162

開発状況一覧

ステージ	開発番号/一般名/製品名	薬効/申請時期	自社・共同開発	製品特長他
承認	ST-630 ホーネル錠 (ファレカルシトリオール)	慢性腎不全など (97年2月)	共同 (住友製薬)	活性型ビタミンD3誘導体。従来の活性型ビタミンD剤に比べ作用が強い。適応症：維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症等。2001年4月承認。
申請中	TTC-909 アルテオン注 (クリンプロスト)	末梢循環改善剤 (95年9月)	共同(帝人)	慢性動脈閉塞症(閉塞性血栓性血管炎：パージャー病、閉塞性動脈硬化症)における皮膚潰瘍ならびに安静時疼痛の改善剤として申請。パルクスなどのPGE1製剤の無効例に対しても有効率が高い。追加比較臨床試験終了。データ解析中。
	クラリス	ヘリコバクター・ピロリ除菌 (99年8月)	共同 (アストラ・協和・ダイナボット)	ヘリコバクター・ピロリ除菌の適応拡大として申請。アストラ社のオメプラゾールと協和発酵のアモキシシリンとの3剤併用。現在、国内臨床試験データを追加し、審議中。
P	一般用医薬品リアップ (ミノキシジル)	壮年性脱毛症	自社	適応拡大のため女性の壮年性脱毛症を対象にP-比較試験を実施中。
P	NE-100	精神分裂病	自社	シグマ受容体遮断作用が強力で選択性にも優れている。陰性症状の改善作用も期待される。海外(欧州)を優先。欧州でのP-終了し、データ解析中。
	ABT-773	呼吸器感染症	共同(アボット)	耐性の肺炎球菌、インフルエンザ菌に強い抗菌力を有するケトライド系の抗生物質。国内においてもP-実施中。
	LDP-977	喘息	共同 (ミレニウム)	気管支拡張作用と抗炎症作用を有する5-リポキシゲナーゼ阻害剤。現在P-a。欧州、アジアでの開発・販売権及び米国でのオプション権。
	INS-1	型糖尿病及びPCOS(多嚢胞性卵巣症候群)	共同 (インスメッド)	糖利用、代謝促進作用を有するインスリン抵抗性改善剤。P-b実施中。アジアでの開発・販売権。
P	ST-152	喘息	共同 (アイデック・生化学)	抗CD23抗体によるIgE産生抑制。欧州、アジアでの開発・販売権。
	NBI-6024	型糖尿病	共同 (ニューロクライン)	インスリンの部分構造改変ペプチド。欧州、アジア、米国での開発・販売権。
	EPI-2010	喘息	共同(エピジェネシス)	アデノシンA1受容体のアンチセンス。アジアでの開発・販売権。欧米は共同。

* 網掛け部分は海外での開発段階のもの。

(1) ロンドン支店の現状

NE-100のP-試験を終了し、データ解析中。

(2) 米国子会社設立

今年秋、アメリカ、ニュージャージー州に自社開発に係わる臨床試験実施のための子会社を人員4名で設立する予定。

バイオベンチャーとの提携

2001年5月現在

会社名	対象物質・技術	対象疾病	権利範囲 / 進捗
生化学工業(株) (アイデック)	抗 CD23 抗体	アレルギー疾患 (喘息)	欧州、アジア 米国でフェーズ
アイデック	抗 MIF 抗体	炎症・免疫疾患 (喘息)	欧州、アジア 前臨床 2003 年欧米でフェーズ 予定
ファイブロジェン	抗 CTGF 抗体	糖尿病性腎症	アジア 欧米での利益還元 前臨床 2001 年米国でフェーズ 予定 2002 年日本でフェーズ 予定
バーテックス	カスパーズ阻害剤	脳血管疾患	東アジア 前臨床 2002 年米国でフェーズ 予定 2004 年日本でフェーズ 予定
クォーク バイオテック	遺伝子探索技術に よる薬剤開発	糖尿病性腎疾患	全世界
ミレニアム	LDP-977	喘息	欧州、アジア 米国でのオプション権 米国でフェーズ 2002 年日本でフェーズ 予定
エピジェネシス	EPI2010	喘息	アジア 欧米での共同開発権 欧米でフェーズ 2001 年日本でフェーズ 予定
インスメッド	INS-1	2 型糖尿病 PCOS	アジア 欧米でフェーズ
アリーナ	CART 技術	オーファン受容体の アッセイ系確立によ る新作用機序の医薬 品開発	全世界
ニューロクライン	NBI-6024	1 型糖尿病	全世界 欧米でフェーズ
フェリン	鋤鼻系器官受容体 作動薬	神経系、糖尿病	アジアでのオプション権(独占) 欧米でのオプション権(半独占)